

# 神戸・リオデジャネイロ姉妹都市提携55周年記念

## コーヒーがつなぐ ブラジルと神戸

2024 **9/14** 土 ~ **12/28** 土

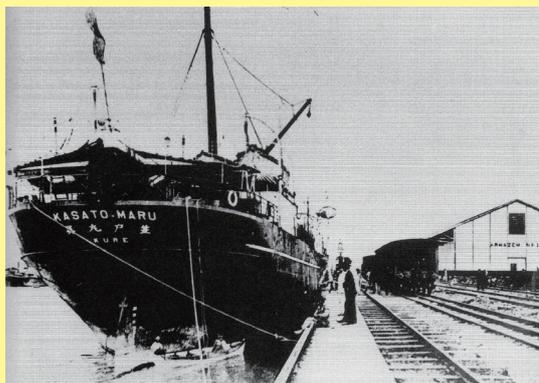
海外移住と文化の交流センター  
1階特別展示場

**入場無料**

開場：午前10時～午後5時（入場は午後4時30分まで） 休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

「コーヒーといえばブラジル」「ブラジルといえばコーヒー」と言われるほど、コーヒーの生産量が多いブラジル。ブラジルにおけるコーヒーの生産には、かつて神戸港からブラジルへ渡った日本移民が貢献し、また日本でのコーヒーの普及に尽力した先人たちがいました。

この企画展では「コーヒー」をテーマに、ブラジルと日本移民、そして神戸を中心にコーヒーが普及するまでの歴史を紹介します。



最初のブラジル移民船「笠戸丸」がサントス港に到着（1908年）



コーヒーの花と実



ブラジルのコーヒー農園で働く日本移民



カフェパウリスタ三宮喫店（1912年開店）



新開地の「湊町ホワイト」（1929年開店）



地図©Google

■ 主催：一般財団法人 日伯協会、神戸市

■ 協力：（順不同・敬称略）

UCCジャパン株式会社、甘苦社、石光商事株式会社、神戸市文書館、神戸市立中央図書館、神戸市立博物館、新開地まちづくりNPO、日本コーヒー文化学会、銀座カフェパウリスタ、株式会社放香堂、たるみ燐寸博物館

**NIPPAKU Since 1926**

一般財団法人 日伯協会 Associação Nipo-Brasileira

〒650-0003 神戸市中央区山本通3丁目19-8 海外移住と文化の交流センター2階

電話・ファックス 078-230-2891 E-mail info@nippaku-k.or.jp

URL <http://www.nippaku-k.or.jp>



- JR・阪神電車「元町」東口より鯉川筋を北へ徒歩15分  
神戸市営地下鉄「泉庁前」より、徒歩10分
- 神戸市営バス：「三宮駅前」または、「元町駅前」から  
⑦系統に乗り「山本通3丁目」下車、北西へ徒歩3分  
または「山本通4丁目」下車、東へ徒歩3分
- \* お車の方は、当センター北側の有料駐車場をご利用ください。